

企業の環境への取り組みについて高校生が感じたこと

平成 30 年 11 月 1 日

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 (NACS)

消費者教育委員会 環境グループ

環境学習の一貫として、NACS による環境授業(「ファッションの裏側を知っていますか?」)に続き、様々な業種から10の企業・NPOの協力を得て、3時間目、4時間目に企業等の環境への取り組みの授業を行いました。生徒は希望の企業等の授業を受講しています。本報告書は、企業等の環境への取り組みを紹介する環境授業を実施した後に行ったアンケートから高校生が感じたことを企業別にまとめました。

アンケート実施概要

調査日:平成30年10月9日

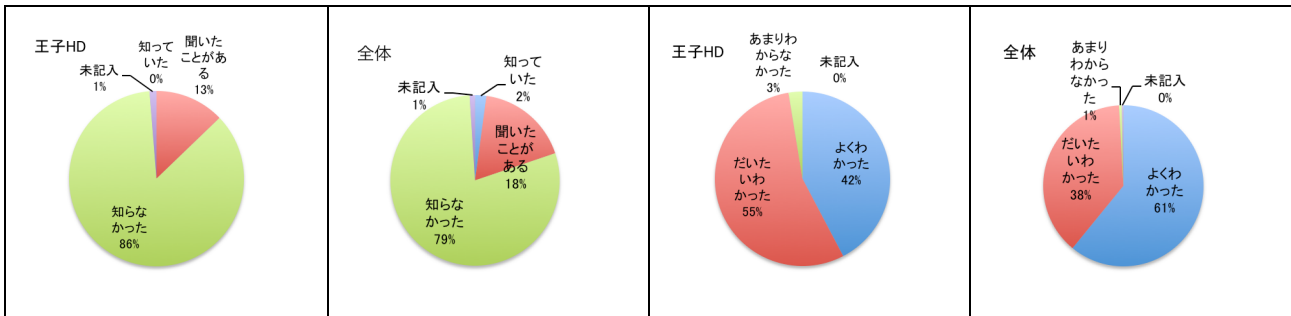
調査対象:神奈川県立海老名高等学校 1年混合クラス 全78名 回収率 100%

協力企業:王子ホールディングス株式会社

Q1. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について知っていましたか?

Q2. 授業の内容はわかりましたか?

企業等別 (n=78)、全体 (n=691)



Q2で答えた理由を聞かせて下さい。

<よくわかった、だいたいわかった>

木は8年かかるので、土地を8等分にして順番にうえていくというシステムはすごく効果が良いなと思った。実際の途中経過の木の状態も見せていただき面白かった。

画像などを多用して結果や言いたい事がとても分かりやすかった。また、口頭でも説明もとても分かりやすく、聞きとりやすかった。どんな活動理由でしているのかよく分かった。

図や写真や絵が多く使われていて見やすい画面だった。簡潔に要点がまとめられていて混乱せず読みやすい画面だった。

1/8 ずつ木を植えていくことによって木を伐採してもなくなる工夫をしているのがとてもすごいと思いました。

スクリーンをもとにくわしく説明していたから。

言葉だけでなく、映像も使った説明を行ってもらったことでイメージしづらい内容でもとても分かりやすかったから。

パソコンに書いてあるだけでなくくわしく話していたからわかりやすかった。

写真が多かったので、そこから「こうなっているんだな」と想像しやすかったから。

<p>企業自体を私は知らなかったのですが、始めの方で簡潔に説明をして下さり、授業の途中でも様々な視点からの話とおりにまげていただいて、わかりやすかったです。</p>
<p>1回まばたきすると、教室一個分の森林が消えてしまう。サッカーコートは 1.2 秒で消えてしまうと聞いて身近でわかりやすかったです。</p>
<p>どのような会社で、具体的に自然に対する様々な活動をしていることが分かった。今の地球で、自然が減ってきている状況をわかりやすく説明してもらった。</p>
<p>スライドが見やすかったからわかりやすかった。</p>
<p>スライドがわかりやすかった。</p>
<p>補足の説明が豊富で常に興味が持てた。</p>
<p>たとえで自分達におきかえて説明してくれたのがわかりやすかったです。また、写真も多くてわかりやすかったです。</p>
<p>森の使い方がどうすればいいのかがわかりやすかった。使う森と自然森をわけの紙の作り方や工程とか材料などの資料があってわかりやすかった。</p>
<p>画像、説明が理解しやすいような工夫がされていたから。</p>
<p>世界では 1.2 秒間にサッカーコート分の森がなくなるなど、身近に感じてわかりやすかったからです。</p>
<p>木とかティッシュとか実物を持ってきてくれたあとに説明をしてくれたのでイメージがわかりやすかった。NACS さんでもさっき言っていましたね、みたいにわかる話題を提示してくれてうれしかった。</p>
<p>川の近くには自然林(根が強く、水質の保持にもつながる)。計画的に植林、伐採をくり返す。自然林では、自然林の木を植える。地域社会にも呼びかけ(途上国等)。→住環境も整備(自然、教育、医療など)。笑顔で楽しく話して下さり、こちらも楽しく授業を受けることができました。</p>
<p>実際に紙の材料となるものを手でさわってみたりできたから、ただ話を聞くだけではなかったからわかりやすかった。普段生活しているときに見るマークでも分からないマークがあってその意味を知ることができて、たくさん環境を守りながら製品をつくっているんだなということが分かりました。FSC マークの説明のときクイズとかがあったらもっと楽しくなったと思いました。</p>
<p>スクリーンを使っていてわかりやすかったです。あと、実物を配って触ることでより理解が深まりました。</p>
<p>実際に木の破片やパルプを見れたのでわかりやすかったです。豆知識とかも入っていて良いと思った。(国連で伐採されたマーク)</p>
<p>実際にどのような物が使われているかなどの資料がたくさんあったのでとてもわかりやすかったです。プロジェクトにカラー写真が張り出される様子などを詳しく知る事ができ、とても良かったです。</p>
<p>実物を見せてくださったり、具体例を多く出してくださったりしてとてもわかりやすく、聞きやすかったです。この会社の名前はあまり聞いたことがなかったけど、ティッシュなどについているマークとか身近なものを例に挙げてくださったので授業内容が頭に入ってきました。</p>
<p>わかりやすかったから。</p>
<p>実際の数字や具体例を含めて話して下さったし、紙をつくる工程の実物を見れたので、わかりやすかったし、より理解が深まった。</p>
<p>1つ1つ詳しい説明でわかりやすかった。実物やクイズがあってもおもしろかった。</p>
<p>図、画像を説明の時に使っていて理解しやすかったから。少し画面が小さかったです。目が悪いので気にしないでください。</p>
<p>スライドで写真と一緒に説明してもらえたり、紙を作る素材などを目で見て説明を聞くことが出来たから。最後少し字が小さくて読めなかった。→どこがポイントか分かり辛いところがあった。</p>

木を使いながら、森を未来にというテーマだとよくわからなかったけど、自然材と別で植えている森があると知ってすごいと思った。その考えは思いつかなかった。企業も地球を守るために努力しているんだなと思った。マークを確認する習慣をつけよう思いました。
グラフや図を使っていてわかりやすい説明だった。クイズなど生徒を飽きさせないような単調でない授業が良かった。ユーカリ、ハツミツ。赤外線スコープ。
映像を使って説明して下さったので、普段見たりしなくて分からないマークなどがあつたけど分かるし、イメージしやすくわかりやすかった。
紙をつくる会社で、その基となる木の生産工程を知れたため。
写真、クイズを取り入れながら説明してくれたから。
王子 HD の方のパワーポイントがとても分かりやすくて、頭にどんどん森林の事が入っていったからです。また、説明のやり方がとても丁寧で、分かりやすかったからです。
クイズを交えながらやっていたので考えながら学ぶことができました。途中、話が難しく理解しづらいところもあったけど、写真を見ながらやティッシュの箱をみながらなど実際のものがあるとわかりやすかったです。
木が 1.2 秒ごとにサッカー場くらいのたくさんの森が減少しているということにおどろいた。
話自体は難しかったが、スライドの写真などがあつたため、このような知識に乏しい私でもなんとなくわかりました。”王子”という会社は知っていましたがこんなに沢山の事業に貢献しているとはおもわず、かなり驚きました。
森林を守るための、たくさんの工夫があつて驚きました。時間をかけてやるものや、今できるもの、たくさんあつて、色々なことに目を向けることが大切だと思いました。
まばたき1回程度で教室の広さの面積の森林が減少していると知り、かなり驚いた。また、社会共生もしており、ただただ施設の提供をするだけでなく、どれだけの苦勞をかけているのかを知ってもらえるような努力もしていて素晴らしいと思ったから。
クイズ形式で最初の方、楽しくうけられたから。
もっとグループとかで話し合つて自分たちで考えたい。ずっと一方的に話されても眠くなるだけ。もっと知ってほしいなら、受動じゃなく積極的に参加できる方がいい。
紙ができるまで長い。森だけでなく、その森を取り囲む地域社会にもよりそっている事も分かつた。
画像がたくさんあつて見やすかつた。実際にさわられたのもよかつた。
現代はどんどん森を減らして建物をたてたりして、環境問題はもちろん、紙などの資源もどんどん減ってしまうので、森を減らしてはいけないということをスライドショーのカラーでわかりやすく理解できた。
1つ1ついいねいにお話して下さつたことで、資源を大切にするための取り組みを知ることができた。また、クイズ形式があり、楽しむことができた。
森林について、あまり身近なことではなかつたので、少し難しく感じた。森林に関わる工夫や仕事だけで自分が知らないものがたくさんあつた。1.2 秒でサッカー場1個分の森林がなくなっていることを考えるとすごくこわく感じましたし紙を無駄にしないようにしようと思った。
時々クイズが入っていたので関心を持ちやすかつたが、説明が難しかった。
分かりやすい説明だつたため。
何回も繰り返しかえし言ってくれる所よかつた。
スライドと一緒に進行していて、サンプルなども用意されていたので体験しながら理解できました。新しい知識を得ることができたから。
森ができるまでには約8年かかることが具体的に分かつたから。ただ植えるだけじゃなくてその森があつたところに、元あつた遺伝子のものを植えないとダメなことわかつたから。

質問するときの仕方が下手だった。まず選択肢に何があるか言うべきだった。木から紙を作っていて、そこから森林、森林の減少について説明していた。身近な例があって分かりやすかった。また、環境を守る CSR 的な取り組みな企業だけでなく、一消費者として私も FRC の商品を買うなどして間接的に貢献する必要があると分かり、この企業のやりたいことに気付くことができたから。
どういものがどれくらいのスピードで作られているかなど、クイズも交えて知ることができたから。
紙を作るために木を使うが取った後の森にまでちゃんと手をやっていることをしれた。
スクリーンを使っていて分かりやすかったけど、森林広さとかが、イメージしづらかった。けど広い土地で植林していることは分かった。
もう少しグループで話し合う場をもうけたほうが良かったかもしれない。
スクリーンだったから。
スクリーンを使っているのは分かりやすかったが、話を聞くだけだったので頭に入ってこない部分もあった。
写真とパワーポイントで分かりやすかった。クイズもあって参加できる(受け身ではなく)授業だった。
写真や図があったから。
どんな事しているのかはスライドで分かりやすかったけど、だいたい言葉の説明だったので後半は眠かった。
声が聞きとりやすかった。
映像と対応していてしっかりと補えていたから。
たくさん写真やグラフがあったので話が頭に入ってきやすかった。少し難しいところがあって、わからなかった。
前の文字が黄みどりで書かれていると光の反射で読みづらいので明るすぎる色以外で書いてもらえると助かります。画像があってすごく分かりやすいです。
地球に存在する森を守るために森そのものだけでなく、その周辺の住む人も支えていくことで守っていくということが分かったから。
パソコンを使っている授業で分かりやすかった。持続可能な森林運営の説明で FSC 原則(10)をつかう時重要点は違う色で映されていて良かった。各工場で(過程)審査がある。→コストがかかる！
資料がわかりやすかった。少しねむかった。
紙を作る過程でたくさん問題が発生してしまったり、売ることも考えなければならないが、それについても決められたルールを守り、安心してもらえるようにたくさんの工夫がされていると知れたからです。
内容を、私たちに分かりやすく噛み砕いて話をしてくれたので、理解しやすくなっていた。
しゃべりが聞きやすくて良かったです。
森の環境だけでなく、住むところの環境も整えていることなどの活動がわかったから。紙になるまでの木や材料の実物が見れてよく分かった！
紙が作られるまでの工程など、実際に粉々になった状態の木材が見れて良かったです。
厳しい意見。森林を守るという事でやっている事は理解できるがそれ以前に延々と話をするだけなのは眠くなる。あと知らない人同士が同じ教室にいるのだから、みんな意見が言いにくいのは当たり前かと、強制的に話すのもアリだが、もう少し話しやすいような雰囲気をつくると良いと思う。
スクリーンがよく見えなかったから。
私たちが何をどうすればいいのかよく分からなかった。

<あまりわからなかった>

スクリーンがよく見えなかったから。
私たちが何をどうすればいいのかよく分からなかった。

Q 3. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について感想などを自由に書いてください。

今まであまり FSC のマークとか気にしたことなかったから、これからは意識していこうと思う。
知らない事がすごく多かった。「紙」の会社と聞いてどのような事を話すのかと思ったが、驚くような話ばかりで、いろいろな活動に興味もてる授業だった。発展途上国での活動等、特に驚くような話でした。
企業による植林などの取り組みは聞いたことあったけど現地の人と交流したり人工林のある土地の支援を行っているとは思わず驚いた。また人工林だけでなく天然林の復活も行っていてそんな事ができるんだと驚いた。壊れたものを直すにはお金と時間がかかるんだなと感じた。
今回の授業で、環境問題に対する意欲が増えました。1.2秒のペースで木が減っている世界で森を守っていくためにはとても大変だということが分かりました。
認証マークのついた製品を買うことで森林経営を支援できるということを知れたので、これからはなるべくその製品を買っていこうと思った。
最初、王子ホールディングスという会社は森林の植付けと伐採を行っていることしか知りませんでした。しかし「環境」「経済」「社会」と、他国に井戸の作り方を教えたり、さまざまなマークに関係していたり、とてもさまざまな事を行っていることがわかりました。これからは商品に書かれているマークをもう少し意識してみるようにしたいです。
認証マークのついた製品は環境に気をつけているので買うようにする。森林は大切な資源なので、紙などをムダづかいしないようにする。
植林の仕方が面白いと思った。でも、なぜ8年なのかが気になった。(8年がある程度大きく、でもまだ若いからやわらかくて、加工しやすいから?)
森林を増やす→ただ木を植えるのではなくて、8分割にして木を植えたり。
FSC というマークがついているのは、直接的じゃなくて、間接的に環境への取り組みになると知れてよかったです。森林、木のために様々な工夫をして、いろいろな角度から環境を守っていると感じました。分かりやすく説明していただきありがとうございました。
木材に使われる用の木と、残しておく用に分けたり、木を植えてから伐採までのサイクルが決まっていたりと、とても効率よく、自然を残そうとしているところがすごいと思った。また、その森林に住む生物にまで気を使っているところにとっても感動した。環境・経済・社会への配慮はとても良いものだと思うので、これからも続けていってほしい。
世界で起こっている森の問題を解決しようとしているのはすごいことだと思う。
自然林と人工的な林の違いがよくわかりました。マークがついている商品は安心して買えるということが分かりました。「OJI」は様々な環境問題に取り組んでいてすごいと思いました。
自分が思っていたよりもはるかに早いスピードで森林減少が進んでいることに驚いた。様々な角度から対策を考えると、すごいと思った。
私たちが普段使っている紙を作るのにこんなに工夫されていたことにびっくりしました。これからティッシュなどの商品を買うときにマークを確認していきたいと思います。
使う森と自然森をわけることで川を汚さないための工夫などになっていると初めて知った。発展途上国の森の使う時その森の近隣の住民の人との対話が大事だということが分かった。
森という私たちの生活の維持に必要なものを地域社会と共生し、土地を8年サイクルで環境を維持するなどの工夫もなされており、途上国への支援も仕事を与えたり、森林学習、学校等の設備を作ったり等の手厚い支援がなされていた。
普通ならすててしまうものも、それを燃料にして発電をしているという取り組みがすごく良いアイデアだと思ったので、ほかの企業もやった方がいいと思いました。

<p>こうやって8年の木を植える方法、最初の8年はうずうずするけどその後無駄が一切なくて画期的だなあと思った。今までティッシュなんていっぱい使うし安いやつでいいやと思ってたけれど次からは WWF と FSC を探して間接的にでも途上国や森に協力したいです。</p>
<p>ユーカリからはちみつがとれる。←初めて知りました。まさかユーカリからとれるとは、、、笑。FSC のたくさんの原則。これらがあるので、地域全体の環境、が良い方向に向かっていけるのだと感じた。そして、単に環境だけでなく、経済。社会的にも原則、規則があり、その FSC に認められた数少ない会社なのにはとても驚いた。なによりも安心安全で、信頼できる会社だと思う。環境への取り組みにとっても力を入れていることも分かったが、関連する住環境や、消費者にも気を使っていて、本当の持続可能な社会を作っているすばらしい会社だと思った。</p>
<p>ただ環境を守る活動しているから「FSC マーク」がついているわけではなくて、たくさんの規則を通過してマークがついていると考えると、たくさん苦労してついているというのが分かった。</p>
<p>森林の木が 1.2 秒にサッカー場1個分なくなっているということにとっても驚きました。森林が減少しているため、木を植えるということはとても環境に優しいと思いましたが、木の種類を1種類しか植えないといっきに枯れてしまうからいろんな種類の木を植えると、いっきに枯れないし、自然の森林に近づくのではないのでしょうか。</p>
<p>単に木を植えるだけでなくその地域の人とコミュニケーションをとったりしているのがすごいなと思った。紙を作るだけでなく発展途上国などへの支援もしていることが分かった。</p>
<p>木を植えるなどをするだけでなく、その地域に人々とコミュニケーションを取り、連携することが大切だということが分かりました。また、1つ1つの作業などでも環境に配慮するための工夫していて良いなと感じました。</p>
<p>木を植える時に 1/2 ずつ植えていって、一同するところに初めの木を伐採するというやり方がすごいなと思いました。ちゃんと考えられているのがとても感じられました。また、人と自然との関わりが考えられて、どちらにも悪い影響が及ばない環境づくりが大切だということや、自分にもできることがあるのを知れてよかったです。</p>
<p>1つ前の授業でものを作るのには沢山の人が悪い環境で働いているんだと知ってとても驚いたけれど、王子さんのように森もその地域の人も良い環境になれる工夫をしてくれている企業があるんだと知って安心した。今日の授業をきいて、値段は少し高くても環境に優しい商品を買おうと思った。</p>
<p>自然の森と紙をつくる用の森とを分けることや、1枚の紙だけでたくさんの種類の薬が使われているなど、私たちの知らないところで、数々の工夫がされているのだなあとと思った。</p>
<p>森を守るために、自然林と生産林を分け、生産林だけでなく自然林の保護にも力を入れていることがわかった。生産林は早く育つが根が深くまではらなかつたり、1つの遺伝子で育っているため病気などで全てが枯れてしまったり良いことばかりではなく危険なこともあるんだなと思った。</p>
<p>マークがついた商品を買うことで消費者が(間接的に)環境を守ることに貢献できるのは良い制度だと思った。環境への取り組みとなると大掛かりなものを考えてしまうので、こういう身近にあるものから協力できることを知れて良かった。</p>
<p>植林は環境だけでなく地域の人々や経済にも貢献しているところまで繋がっていることに驚きました。自分達が普段使っている紙も沢山の木がばっさいされて出来ていると思うと無駄使いせずに使わなければいけないと思いました。次、紙やティッシュを買う時とかは認証マークにも意識して買い物をしたいと思います。</p>
<p>森林を大切にと言うのはかんたんだけど実際何をすればいいかわからなかったから「FSC」などのマークがついた物を買えば児童労働なども助けることができるならそのようなことに気をつけて私も物を買おうと思った。企業の取り組みは調べたことがなかったのでとてもいい機会になったなと思った。ありがとうございました。</p>
<p>森。生産のことだけを考えるのではなく自然や住んでいる人のことも考えて行っているのだと分かった。古紙の割合が増えているのを知って驚いて面白かった。</p>
<p>植林と自然の森は見るからに違いがわかりやすい事を知った。それと同じ遺伝子だから影響しあうことも初めて知ったし、年ごとに植えるのをズラして植林していくことも知った。</p>

紙の基となる木のサンプルがあったのは良かったが、もう少しそれを使って実験のようなものをしてみたらどうかと思った。ですが、ためになる授業ありがとうございました。
認定マークのついている商品、企業のはしっかりと環境のことを考えて工程を踏んで作られたものなので、これからは意識して商品を選んでいきたいと思いました。
森林の事なんて、全然考えたことがなかったけど、森林が出しているO ₂ がないと、私達は生きていけないから、もっと森林を大事にしている物を買っていきたいと思いました。
生産林は1年ごとに植えて毎年伐採できるようにしているのは初めて知りました。FSCというマークも今まで意識していなかったのを見たことなかったですが、これからはさがしてみようと思いました。紙の中に葉が入っているなど考えたことがなかったけど、使われている薬品はそれぞれに意味があって厳しい検査をのりこえて紙として使われていると知りびっくりしました。
最近の森の減少について教わって、無駄使いはいけないなと思った。風邪のせいでよく聞けなかった。
実際に、環境面に関わっているためこの前に聞いた花王より、かなり深い話を聞けました。森林を増やすために、ただ植えれば良いという訳ではなく、どのような木がこの土地に適しているか現地の人や専門の人、沢山の人が携わっているということを知り、森の大切さ改めて実感しました。
ものすごい速さで森林がなくなっていると知り、おどろきました。少しのことでも森林のためになることを考え、実行していくことが大切だと思いました。
これがあることで環境、社会に配慮していて、さらには経済的にも持続的であると認められた商品ということが分かる。それを買うことで支援できる。8等分したところに1年ごとに順番に植えているという活動は効率的で感動した。正直ひとつも知らなかった。王子 HD の活動に私も少しでも貢献していければなと思った。
マークが付いているものが、案外種類が多いんだなあとと思いました。植える用の森林、天然森林を分けることにけっこう深い意味がひそんでいて興味深かったです。小さな事から資源を大切にしていこうと思いました。また、スーパーなどでマークの付いたのを探してみたいと思いました。
FSC マークなどもっと探して使っていきたいなと思った。動物達を守るにはやっぱり人と資源と環境を考えていく必要があるなと思った。
紙を作るまでの根本にある森林の保護のための取り組みが複雑なことにびっくりした。
森林の場所が減らないように同じ所で回して木を育てているのが印象に残った。場所を区切るのは自然と人工的な木を分けることができよと思った。
「森を減らさないようにする」というのは普通の生活を送る上ではあまり関わる事ができないけど、家や学校で小さな植物を育てるなどのことでも1人1人がやれば世界全体の環境は大きく変わっていくと思った。将来はもっと発展していくけど、発展するならばより森は大切にすべきだと思った。
森林だけでなく、加工・流通で森林認証木材が適切に管理されている企業を選ぶことが大事。
森林について関わる工夫や仕事が自分が思っていた以上にたくさんあることにおどろきました。また、1.2秒にサッカー場一個分の森林がなくなってしまうと森林が世界からなくなってしまうのも遠くないと思うし、紙の無駄使いはやめようと思った。そして、木がなくなれば、そこでくらしている動物たちのくらす場所がなくなってしまうから、木がなるべく減らないように、活動していきたい。
森などの自然を守るのはとても大変だと思った。先進国の森林が増加しているのは意外で、発展途上国の方にも技術を広げていくべきと思いました。
まばたきの時間で教室の大きさの森林が無くなっていることに驚きました。
人工林と自然林の違いが1目でわかった。工夫して資源を使っているのがわかった。
森に住んでいる鳥の生成を調べたり、魚(サケ)の安全を守ったり紙だけではなくて他の環境にも目を向けていて周りにも気を配っていていいなと思いました。社会と環境と経済を大切にしている良いと思いました。

<p>森の状況がこんなにも深刻化しているとは思わなかった。まばたき1回分で教室1つ分の面積の森がなくなっているなんて驚いた。</p>
<p>紙を作るために木を使うが、自然に生きている木と植林の木を分け育て、植林の木で紙を作っていた。そのようなところは自然を守る考慮をしていると思った。また、植林がずっとあることにより災害の被害を和らげていることが分かった。そして、王子が所有している森では生物の保全もしていた。このような環境を保全する取り組みは森の生態系や農業地域住民の学習や医療などの生活など経済、社会、環境に役立つので素晴らしいと思う。</p>
<p>森を破壊しないように努力する。</p>
<p>日本ではあまり木は減ってないが、外国では南米の方とかで減っているから、外国にも支援しなくてはいけない。</p>
<p>森林についての環境への取り組みは日本だけでなく世界レベルになっていて、地球の環境の改善にもなるんだなあと思いました。いろいろなことを考えなければならないので、ものすごく大変なことだと思いました。</p>
<p>発展途上国のことを配慮し、経済にとっても貢献していることが分かった。買うときはどこの企業かもチェックしたほうが良いことを知った。</p>
<p>”王子ホールディングス”という名前は聞いたことはあったけど紙をつくっていて、他の国の森林を保護していたりして世界規模の環境を守っているんだと知りスゴイと思いました。</p>
<p>つくる側として責任をもって環境への取り組みをしていると感じられた。私も消費者として責任をもって行動しなくてはと思った。</p>
<p>FSCのマークがついている商品になるべく選んで買うべきだということがわかった。森林が減少していることをもっと考えていかないとダメだと思う。資源を大切にしたいと思いました。</p>
<p>ものを作る前の段階でも森林をなくさないための配慮があるんだということを知ったので、私もものを買うときはFSCのマークがついたものや環境に配慮された商品を買ってみようと思いました。自分の知らないような話がたくさん聞けてよかったです。</p>
<p>紙を作っている会社だけであって森への配慮がすごかった。森を良くしたら海も良くなると聞いたので、色々な会社同士で助け合って、環境をよくできるのではと思った。</p>
<p>人工の森すごい。後ろに回ってきたものをどうにかしてほしかった。</p>
<p>紙を作るまでに様々な努力を行っている。つくる過程での環境の配慮だけでなく社会的な責任も果たさなければならないのは大変だと思う。植林と自然の森は別であるのは知らなかった。</p>
<p>ただ木を伐採するだけでも、8ヶ月ずつ切つて木がなくなってしまうことを防いだりしていることを知りました。発展途上国に医者を送ったり、井戸をつくってあげるなど現地の人と話して、直接木に関わらない活動もしていることに驚きました。</p>
<p>1,2秒におどろきました。SDGsを初めて聞きました。企業が森について色々考えてやってくれているので私たちもできる所から環境について考えていかなければいけないなと思った。木を1年ずつ植えていくのはすごいと思う。</p>
<p>1,2秒間にどれくらい森林が失われるかを分かりやすく説明していてよかったと思います。しかし後半は話ばかりで少し眠かったです。</p>
<p>森林認証の製品を購入することで自分達が間接的に森林を守ることに繋がることがわかった。地域との連携も大事であることもわかった。これからは、今回学んだことを活かしていきたい。資源(森林)→これを買とり→製造→製造の使用→廃棄→再利用(電力、燃料)</p>
<p>いろいろなことで環境を破壊しないようにしているのが分かった。木材のことに對してたくさんやられていることが分かり、1,2秒でサッカー場1つ分は大きくて、びっくりしました。</p>
<p>私は今日の授業で企業って大変だなと思いました。たくさん工夫をほどこして対策などをしていたのでこんなにやっているんだと思い驚きました。</p>

自然林にも配慮した取り組みを行っていると聞いて安心しました(私が1番心配していたのは、野生動物などの生態系についてだったので)。その反面森林にも問題がまだまだあることを実感しました(減っていることなど)。
森林を大切にしていることがとても伝わりました。企業側が努力しているので自分達もできることをやりたいと思いました。
ユーカリからハチミツがとれることに驚いた。森の環境だけでなく、住むところの環境(井戸を作ったり、子どもの教育)も整えているのはすごいと思った。持続可能な社会への目標のマークが13種類もあるなんて初めて知った。森を守るだけでなく地域の人との連けいが大事!紙の中に10種類ぐらいの薬品が使われていたのに驚いた。
森林への配慮だけでなく、その土地に住む人たちへの支援もされていて、様々なことをされているのは分かりました。発展途上国で主に活動をされている印象があったので日本国内でも木を育てたりすれば、自然たくさんで空気もきれいになるし、海外に行く費用がなくなせると思います。
環境の取り組みについては知らなかった工夫を知る事ができ、新たな知識を得る事ができたのはよろこばしいことだと思います。だから面白くはありましたがその後少しずつ眠くなりました。あと、話し手も聞きやすくはあったけど、もう少し興味を引きつける小話を1つでも用意しても面白いと思う。
普段はティッシュのマークなど気にしていなかったけど次回から気にしようと思った。
色々な取り組みをしていることは分かったが、どこでやっているのかがいまいち分からなかった。

以上